

大山の森だより

2014年夏号



しとしとと降る雨の中、
鮮やかに咲きそろう紫陽花の花。

雨の合い間に見える太陽と
木漏れ日が、初夏の訪れを
告げようとしています。



活動報告（春期自然ふれあい事業）

大山野鳥観察会（4/5、12、19 5/3、10、24 6/7、14、21）



昨年度に引き続き、気軽に参加できるよう、当日募集型の野鳥観察会を今年も企画しました。
時に姿を見せつつ、時に声だけを残す、季節によって変わる野鳥たちの暮らしを観察してみました。

大山花の観察会（4/26 5/17 6/28）



何度も来るうちに、少しずつ増える顔馴染みの参加者たち。残雪の中での観察会もあれば、晴れの日もあり、
雨霏に覆われた幻想的な風景の中での観察会。みんなで森の花たちを愛でました。

大山三ノ沢探険（5/31）



前回は晩秋、雪の上を歩きつつ三ノ沢へ。今回は新緑の中、三ノ沢に向けて山道を歩きました。
『堰堤の上まで行った人だけが見ることの出来る最高の景色』話には聞いていても、単独では入りにくい
場所のためか、日が近づくにつれ1人増え、2人増え、当日は総勢31名で三ノ沢を探険しました。

◎ よく似た植物

「ヒヨドリバナ」と「ヨツバヒヨドリ」一番分かり易い違いは、葉が対生しているか、輪生しているか。あとは、全体的に白っぽい(白～淡いピンク)のがヒヨドリバナで、ピンク色なのがヨツバヒヨドリ。高さも、ヒヨドリバナは2m近くになるのに対して、ヨツバヒヨドリは1.2m程度。

～ヒヨドリバナ～



高さ 1～2m

環境 山地の乾いた所に生える多年草。

葉 対生で短柄。卵状長楕円形、長さ10～18cm。裏面に腺点がある。

頭花散房状につき、少数の筒状花よりなる。



頭花は5個ほどの白色の両性の筒状花からなる

花冠の先は浅く5裂し、花柱の先が分枝して長くのびだす

花期：8～10月

総苞は長さ5～6mm
総苞外片は乾いた膜質で短い

～ヨツバヒヨドリ～



高さ 約1m

環境 深山に生える多年草。

葉 3～4個が輪生。長楕円形、長さ10～15cm

頭花は密な散房状につく。

頭花5～6個の淡紅紫色の筒状花

花冠の先は、浅く5裂し、花柱が花冠より長くとびだし、先は2つに分枝する

総苞の長さは5mmほど
総苞外片は乾いた膜質



花期：8～9月

シモツケは落葉低木。シモツケソウはバラ科の多年草。花の咲き方だけでも違いが分かりますが、葉っぱの形も違ってきます。

～シモツケ～



岩礫地など日当たりのよいところにはえる高さ1mほどの落葉低木。

葉は互生し、葉身は3～8cm、幅2～4cm 狭卵形～卵形または広卵形。



花色：濃紅色～白色
花期：6～7月



～シモツケソウ～



山地の向陽地に群生する高さ0.3～1mの多年草。

葉は5～10裂した掌状の奇数羽複葉で、頂小葉が大きい。葉身は10～13cmぐらい。側小葉は大形と小形のものが交互に対生する。



花色：濃紅色～白色
花期：7～8月



【大山周辺での出来事】



4/10 船上山山焼き
特有の動物や植物の貴重な
生息地、船上山。3年に1度
山焼きが行われています。



4/26 る〜ぶバス運行開始
梅雨時期はお休みですが、
土日祝が便利に。夏休みや
紅葉の頃は毎日運行。



5/1 鏡ヶ成山開き(第1回)
鏡ヶ成で擬宝珠山の山開き。
参加者はカタクリの花や
登山を楽しみました。



5/9 リニューアル
参道沿いに装いをちょこつと
変えてオープン。近くには、
温泉パンのお店も。



5/19 ムジナ出没
最近、目撃情報多発。
数が増えたのか、人を恐れ
なくなったのか…。



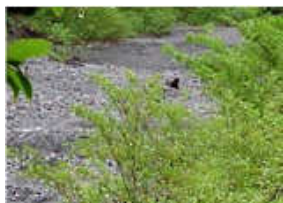
5/5 大山遭難
「行けるところまで…」の安易な
行動により、縦走路(通行禁止)で
動けなくなり、ヘリで救助。。。



5/20 登山道整備
山開きを前に、夏山登山道と
ユートピアコースの整備が
行われました。



5/24 御輿行幸
3年に1度開催。担ぎ手不足の
心配もされていましたが、総勢
150名。参道を練り歩きました。



6/6 熊の目撃情報
5/16には夏山登山道。
今回は三ノ沢で、熊らしき
動物を見かけたとの情報。



6/6 ゲストハウス
大山アルペン通りに山と
旅の宿、ゲストハウスが
新しくオープンしました。



6/7 大山夏山開き(前夜祭)
神社での神事を終えた後、
たいまつ行列が博労座へ
向けて参道を下りました。



6/8 大山夏山開き(山頂祭)
雨の降る中、およそ500名の
登山者たちが、安全を祈願
する山頂祭に参加しました。



6/14 金門に沈む夕日
一年のうち、数日しか見る事が
出来ません。次は7月初旬に、
金門の狭間に落ちて行きます。



6/14 地ビールフェスタ
全国の地ビールが樹水に
集結。賑やか過ぎるぐらい
盛り上がっていました。



6/17 追いやられて
地上はめったに出て来ない
ヒミズ。何かに追いやられて
しまったのか…。



6/22 キャリーアップ
大山頂上の汚泥を下ろす
キャリーダウンに替わって、
木道の棧木を頂上へ。

カシノナガキクイムシ



豪円山と下山で、カシノナガキクイムシの
調査を開始しました。大山寺地区周辺で
ナラ枯れを見つけた際は、自然公園財団
鳥取支部までご一報下さい。

縦走禁止



度重なる遭難事故を受けて、
縦走路入口の看板がお願いから
”通行禁止”に付け替えられました。
縦走は禁止です！

オオキンケイギク



生態系に影響を及ぼす特定外来種
コスモスに似た黄色い花を付けます。
知らずに、花壇や畑などに植えられて
いる事がありますが、適正に処分を。
栽培は法律で禁止されています。

ー イベント情報 ー

■自然公園財団主催のイベント

阿弥陀川探険	内容:
開催日 : 8月2日(土)、9日(土)	基本的には、身一つでOK。
場所 : 阿弥陀川周辺	ずぶ濡れになりながら川の中を進みます。
時間 : 9時30分~13時頃	夏の大山を楽しく涼しく満喫しよう。
集合 : 大山情報館1階	※各回とも、内容は同一となります。
参加費 : 2000円(保険代・軽食代・バス代他)	
大山学校	内容:
開催日 : 8月23日(土)14時 ~8月24日(日)12時	豪円山キャンプ場で、テントでの宿泊体験。
場所 : 豪円山キャンプ場周辺	昆虫・野鳥・植物観察、木工体験、星空観察など
集合 : 豪円山キャンプ場管理棟	自然とのふれあいを楽しもう。
参加費 : 一人2000円	不便さもキャンプを楽しむため要素の一つ!
募集 : 5組程度(親子対象)	※テント・寝具・食材は主催者側で用意致します。
木の実観察	内容:
開催日 : 9月20日(土)	アキグミ、ガマズミ、クサギ、ブナ、ミズナラ、
場所 : 大山寺地区周辺	ヤマボウシなど、森の中は恵みがいっぱい♪
時間 : 9時30分~13時頃	動物好み(たまに人間も含む)の木の実を探して
集合 : 大山情報館1階	大山の森を散策しよう!
参加費 : 2000円(保険代・食事代)	

※日程等変更になる場合もありますので、事前にご予約・お問合せ下さい。

■周辺イベント

古式祭(神水汲取神事)	7月14日(月)~15日(火)
14日から15日にかけての深夜、神官が先達や信者と共に大山の頂上近くにある石室に登り、日の出と共に頂上の池で御神水と御薬草を採り、神前にお供えするというお祭りです。	
大山寺お盆の大献灯	8月13日(水)~15日(金)
日没後ライトアップされた大山寺山門までの参道をローソクや40基余りの絵灯籠と、和傘を使ったやさしい灯りがお盆の夜を幻想的に彩ります。	
榊水地蔵・榊水地蔵尊祭	7月下旬
元禄9年(1696)の大干ばつで亡くなった人々を慰めるため、美作国の宗真という法印が、長い年月をかけて浄財を集め、享保5年(1720)に石の地蔵を刻み、隔夜48日間餓死者の供養を行ったというのがこの地蔵祭りの始まり。お祭りは毎年7月に行われます。	
中国四国の国立公園展 アクティブ・レンジャーが伝える自然と活動	
中国四国地方のアクティブ・レンジャーたちが出会ったすばらしい自然や風景、自然とふれあう人々や保全活動に取り組む人々の姿などを紹介する巡回展が大山情報館で行われます。	
会期:平成26年9月6日(土)~10月5日(日)まで。大山情報館(入館無料)	
主催:環境省中国四国地方環境事務所(米子自然環境事務所0859-34-9331)	
阿弥陀堂御開帳(毎月18日)	
大山寺内で現存する最古の建造物で、堂内には1131年作(仏師 良円)の阿弥陀如来像(国指定重要文化財)が鎮座しています。4月から11月にかけて、毎月18日に一般公開されています。	

自然公園財団 鳥取支部 大山事業地
〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33(大山情報館1階)
TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2371
URL:<http://www.bes.or.jp/daisen/>